

「児童虐待かな?」と思ったら ためらわず連絡を!

身近に児童虐待の疑いや心配はありませんか? 「間違いかもしれない」「確信が持てない」と、連絡をためらわれないでください。

子どもの詳しい情報が分からなくても構いません。子どもの命を守るために、地域での見守りをお願いします。

【健康福祉課子育て支援係 ☎ 34・2098】

連絡者は責任を問われません

匿名の連絡であっても受け付けられます。連絡者の情報が、虐待者に伝えられることはありません。連絡の後で虐待でないと分かったとしても、連絡者が責任を問われることはありません。手遅れになる前に虐待を止めるためにも、ためらわずに連絡してください。

連絡後、48時間以内に安全確認が行われます。子どもの安全が確認できない場合は、保護者に対し出頭要求や立ち入り調査が行われます。この際必要があれば、子どもは一時保護され、心身両面のケアが行われます。



虐待を止めるために

サインを見逃さないでください

子どもや保護者の様子、生活から、虐待のサインを見つけることができま す。そのサインを見逃さないことが、子どもを虐待から守る第一歩となります。

がまんしないでください

「暴力をふるわれる」「ご飯を食べさせてもらえない」といった虐待を受けていませんか。つらいときは、がまんしないで相談してください。

自分ひとりで悩まないでください

「子どもをかわいいと思えない」「子どもに対してイライラしてしまう」といった悩みをひとりで抱え込んでいませんか。育児によるストレスが虐待につながることもあります。どんな小さな事でも気軽に相談してください。

虐待のサイン一例

子どもからのサイン	保護者からのサイン	生活からのサイン
体に不自然なあざや傷がある。 栄養状態が悪く、発育が著しく遅れている。 常に不潔な状態にある。 周囲の人間に対して攻撃的である。 家に帰りたがらない。 など	地域社会との交流がない。 アルコール飲料を飲み、暴れることが多い。 配偶者から暴力を受けている。 育児に対して不安感がある。 子どものケガや病気を放置している。 など	家の周りにごみが散乱している、悪臭がするなど不衛生な環境。 子どもの泣き声や、どなり声が聞こえる。 夜遅くまで子どもだけで外出している。 外で子どもの姿を見かけない。 など

Vol. 32

町長日記

足し算型人生
引き算型人生



田原本町長 寺田 典弘

よく世間ではストレスが溜まるとか、ストレスのために病気になるって聞 きます。先日、家内が「ストレスというの はどういうものなの」と聞くので実は 私もストレスの意味がよくわからない と答えた。実に似た者同士のお気楽夫婦である。

仕事をしていけば、思うようにいく ことのほうが少なく、私も不満が溜ま ることもある。しかし家に帰って、子 供と遊び一献傾けるとそんなことはす っかり忘れ、翌朝まで引きずることは ない。ストレスは元々、材料工学上の 言葉でスプリングを引き伸ばしたり、 ゴム球を押し縮めたりした時にその物 質内部に生じた応力の事を言う。現代 人はストレスをなくすべきかと思いがち であるが、ストレス学説の祖であるハ ンス・セリエ博士は「ストレスは人生



今月の話題

皆さんの生活に関係する制度やイベントなどを紹介するコーナーです。

議会だより 平成 24 年第 1 回臨時会

▶ 提出議案の説明をする寺田町長



平成 24 年田原本町議会「第 1 回臨時会」が 8 月 3 日に開かれました。

臨時会は、必要があるとき、特定の事案に限り審議するため招集される議会です。

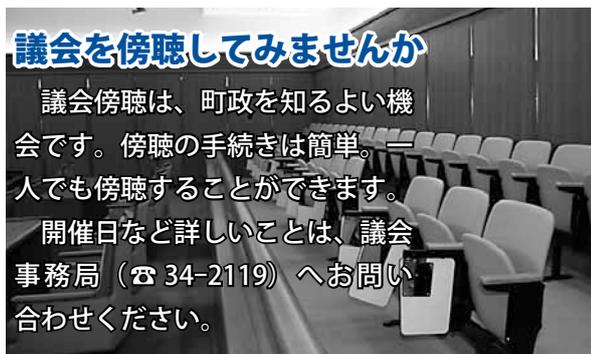
今回の臨時会では、次の事項について慎重に審議されました。

議決事項

◇ 御所・田原本環境衛生事務組合理約の一部変更について（原案可決）

議会を傍聴してみませんか

議会傍聴は、町政を知るよい機会です。傍聴の手続きは簡単。一人でも傍聴することができます。開催日など詳しいことは、議事事務局（☎ 34-2119）へお問い合わせください。



オレンジリボンを あなたの胸に



子どもを虐待から守るオレンジリボン運動

虐待が心配される場合の相談先

月～金曜日

午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

町健康福祉課子育て支援係

☎ 34-2098

✉ fukushi@town.tawaramoto.nara.jp

土・日曜日、祝日、夜間

児童家庭支援センターあすか

☎ 44-5800

24 時間 365 日

中央こども家庭相談センター

☎ 0742-26-3788

児童相談所全国共通ナビダイヤル

☎ 0570-064-000

連絡は匿名でも構いません。

疑いや心配があるだけでも連絡をお願いします。

連絡者の情報は、法律によって守られます。

のスパイスである」と言っている。ストレスという適度なスパイスがあるからこそ私たちは人生をよりよく料理でき、自分自身を向上させながら生きていける。そう考えるとストレスも少しは必要なのかもしれない。

以前作家の曾野綾子さんが書かれていたことだが、自分の弱さをカバーするために、いつも「足し算・引き算」の方式で自分の心を操ってきた。健康ですべてが十分に与えられて当然と知っている人は、少しでもそこに欠落した部分ができるともう許せず耐えられなくなる。これを引き算型人生という。それに反して私は欠落と不遇を人生の出発点であり原型だと思っているから、なんでもそれより良ければありがたい。これが足し算型の人生の実感だと言っておられる。

ストレスに弱い人の多くは、この引き算型の人生観を持っておられる方が多いのではないかと。コップに半分だけ入った水を見て、半分も入っているとと思うか、もう半分しか入っていないと思うか、80年という長い人生の中でこの差は大きいと思う。特に戦中、戦後の物のない時代を生き抜いてこられた方々は、もう引ける物は何もなく足し算するしかなかった。今を生きる私たちは飽食の時代に、贅沢を当たり前として暮らしている。何もかもが満ち足りていて、知らぬ間に引き算することしかできなくなったのかもしれない。